

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

中央工業株式会社 本社工場

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市西条吉行東1丁目6-46

(3) 業種

自動車部分品・附属品製造業(3113)

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25年（2013年）度を基準年度とし、令和4年（2022年）度から令和12年（2030年）度までの9年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（％）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度 (2013年度)	令和12年度 (2030年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂	15,496	9,669 37.61	12,316 20.52	12,058 22.19	11,167 27.94	100.00	100.00
非エネルギー 起源CO ₂		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
メタン		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
一酸化二窒素		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他 温室効果ガス		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
温室効果ガス 実排出量総計	15,496	9,669 37.60	12,316 20.52	12,058 22.19	11,167 27.94	100.00	100.00
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産量(千t)

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度 (2013年度)	令和12年度 (2030年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
エネルギー 起源CO ₂	868.12	454.99 47.59	554.77 36.10	538.35 37.99	537.13 38.13	100.00	100.00
非エネルギー 起源CO ₂		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
メタン		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
一酸化二窒素		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他 温室効果ガス		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
温室効果ガス 排出量総計	868.12	454.99 47.59	554.77 36.10	538.35 37.99	537.13 38.13	100.00	100.00
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)	295.84	213.89 27.70	261.50 11.61	250.14 15.45	229.87 22.30	100.00	100.00
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	電気使用量の削減	電気使用量を原単位で前年度比年1%削減	・誘導加熱炉設備更新 ・省エネ型コンプレッサへの更新 ・休憩時間の消灯の徹底維持 ・設備計画保全による生産性の向上
2			
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。